

平成25年度・第1回滋賀県地域防災計画(原子力災害対策編)の
見直し検討会議における主な意見

- 1 開催日時：平成25年8月5日(月)13:00～15:00
- 2 場所：滋賀県大津合同庁舎7-C会議室
- 3 議題および主な意見
 - (1) 平成25年度検討項目および今後のスケジュール(国の動向を含む。)について
 - ① 広域避難について、避難時間をできるだけ短くするための具体的な計画は検討しているか。
⇒ 避難時間推計を実施し、渋滞予測および渋滞緩和のための対策を検討している。
 - ② 福井県からの避難者の流入は考慮しているか。
⇒ 避難時間推計の中で、福井県からの流入を前提にしたシミュレーションを行っている。
 - (2) モニタリング計画について
 - ① 必要となる体制を時系列的に整理するとともに、各段階において実施すべき事項の優先順位を決めておくことが重要である。
 - ② モニタリングポストと併せて、モニタリングカーや可搬型モニタリングポストの活用、さらには、電子線量計など比較的安価な測定器材の活用方法を検討しておくことが重要である。
 - ③ モニタリング要員の資質向上、人材育成が必要である。
 - (3) 放射性物質の琵琶湖への影響予測の評価手法の確認について
 - ① 大気のシミュレーションについては、原子力災害発生時に活用できるシミュレーションシステムの構築につなげていただきたい。
 - ② 琵琶湖のシミュレーションで、影響が残りやすい箇所など琵琶湖の特性が明らかになれば、その情報をモニタリング計画に反映させていくことを検討されたい。